



報道機関 各位

2021（令和3）年12月17日

**【記者会見のご案内】【世界初！】  
島根大学・旭化成(株)・京都大学・三重大学・長崎大学の共同研究  
新型コロナウイルスに対する新規国産ワクチン開発・特許出願！**

◆本件のポイント！

【世界初！】

「ヒアルロン酸ナノゲル」を用いた新型コロナウイルスに対する新しいワクチン開発

【特長】

- ・生体由来材料を基にした、副反応の可能性が極めて低い新しいワクチン。
- ・室温流通できるワクチンとなる可能性を有する。
- ・中和活性を有する抗体価の上昇・1年以上の持続期間・免疫記憶の誘導を確認。  
（2回接種後のマウス実験で実証）
- ・特許出願を完了（2021年12月16日、特願2021-204470）。
- ・日本医療研究開発機構（AMED）「創薬基盤推進研究事業」（2021年11月～2026年3月）に採択。（研究開発代表者：勝又 徹（旭化成（株））。

◆本件の概要

島根大学医学部（浦野健教授）・旭化成（株）（下房地剛室長、勝又徹グループ長）・京都大学（秋吉一成教授）・三重大学（珠玖洋教授）・長崎大学熱帯医学研究所（森田公一教授）の共同研究によって、ヒアルロン酸ナノゲルを用いた新型コロナウイルスに対する新しいワクチンの研究開発に成功しました。

ポリエチレングリコールを含まない生体由来材料としての安全性・免疫組織への高い抗原送達能力から子供への接種も可能な安全性を有するワクチン、また、粉末乾燥させても十分な効果を保持していることからコールドチェーンを必要としない（室温流通できる）ワクチンとなる可能性を有しています。

特許出願に合わせて、下記のとおり記者会見を実施いたしますので、お知らせいたします。

◆日時・場所等

日 時：令和3年12月18日（土）14：00～15：00

場 所：医学部本部棟5階 大会議室（出雲キャンパス）

出席者：島根大学医学部長 鬼形 和道

島根大学医学部生化学講座病態生化学 教授 浦野 健

旭化成(株)添加剤事業部 新製品開発推進室 技術開発グループ長 勝又 徹

京都大学大学院工学研究科 教授 秋吉 一成

陪席者：島根大学医学部生化学講座病態生化学 技術専門職員 成相 裕子

旭化成(株)添加剤事業部 新製品開発推進室長 下房地 剛

◇記者会見は Zoom 配信を予定しております。

※当日配布資料は、会見終了後ご希望の方に PDF データを送付させていただきますので、

島根大学医学部総務課企画調査係（mga-kikaku[at]office.shimane-u.ac.jp）までご連絡ください。

※[at]は@に置き換えてください。

◆本件の連絡先

(本件に関すること)

- 島根大学医学部生化学講座（病態生化学）

教授 浦野 健

turano[at]med.shimane-u.ac.jp

(報道発表に関すること)

- 島根大学医学部総務課企画調査係

Tel 0853-20-2019